



第9回 菊池ビエンナーレ 現代陶芸の〈今〉 プレスリリース

公益財団法人菊池美術財団は、現代陶芸の振興を目的に2004年度から公募展「菊池ビエンナーレ」を隔年で開催しています。現代陶芸の紹介を主に活動する当館において、菊池ビエンナーレは主軸となる継続事業であり、この度は9回目の開催となります。

今回は、2021年5月18日に作品の応募を締め切り、279点のご応募をいただきました。そして同年5月31日に第1次画像審査を、7月14日に第2次作品審査を行い、入選作54点を選出し、入選作の中から大賞1点、優秀賞1点、奨励賞3点を決定いたしました。全ての入選作は2021年12月11日（土）～2022年3月21日（月・祝）開催の「第9回菊池ビエンナーレ 現代陶芸の〈今〉」展にて、一堂に展示いたします。

つきましては展覧会概要、入賞作品・作家の情報、入選者一覧等に加え、会期中の関連行事が決定いたしましたので、ご案内をお送り申し上げます。菊池ビエンナーレをひとりでも多くの皆様にお知らせいただき、周知にご協力を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

敬具

審査結果

応募総数 279 点

一次画像審査を通過した作品 125 点に対して、二次作品審査を実施
入選作品 54 点（うち、入賞作品 5 点）

作品応募締め切り	2021 年 5 月 18 日	応募総数 279 点
一次画像審査	2021 年 5 月 31 日	通過作品 125 点
二次作品審査	2021 年 7 月 14 日	入選 54 点選出 (うち入賞 5 点)

入賞

大賞 猪倉 高志 《線を解き放つ》
優秀賞 梅本 孝征 《色絵流加彩昇落器》
奨励賞 津金 日人夢 《青瓷平壺—水天彷彿—》
中里 浩子 《はなもよう》
原田 雅子 《ながるる》

審査員

審査員長 菊池 節（当公益財団法人理事長、当館館長）
審査員 秋山 陽（陶芸作家）
唐澤 昌宏（国立工芸館館長）
大長 智広（京都国立近代美術館主任研究員）
前田 昭博（陶芸作家）
島崎 慶子（当館主任学芸員）

展覧会概要

会期 : 2021 年 12 月 11 日（土）～2022 年 3 月 21 日（月・祝）
開館時間 : 11 時～18 時（入館は 17 時 30 分まで）
休館日 : 月曜（但し 1 月 10 日、3 月 21 日は開館）、1 月 11 日（火）
年末年始（2021 年 12 月 27 日～2022 年 1 月 3 日）
入館料 : 一般 1,100 円／大学生 800 円／小中高生 500 円
会場 : 菊池寛実記念 智美術館（東京都港区虎ノ門 4-1-35）
主催 : 公益財団法人菊池美術財団、日本経済新聞社

関連行事

◎授賞式・講評会 当館展示室にて

展覧会前日に入賞・入選者への授賞式と講評会を行います。

※新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、この度の授賞式・講評会は入選者と報道関係者の皆様のみのお入場に限りさせていただきます。

12月10日（金）15時30分より 授賞式
16時より 作品講評会

◎受賞作家&審査員によるトーク 各日15時より、当館展示室にて

予約不要、当日の入館券が必要です。

受賞作品や自身の制作について、受賞作家にうかがいます。

1月22日（土）

猪倉高志（大賞）、大長智広（審査員）

2月12日（土）

梅本孝征（優秀賞）、津金日人夢（奨励賞）、唐澤昌宏（審査員）

2月19日（土）

中里浩子（奨励賞）、原田雅子（奨励賞）、島崎慶子（審査員）

◎入選作家&学芸員によるトーク 15時より、当館展示室にて

予約不要、当日の入館券が必要です。

入選作品や自身の制作について、入選作家にうかがいます。

3月5日（土）

アイザワリエ（入選）、青木岳文（入選）

◎学芸員によるギャラリー・トーク 各日15時より、当館展示室にて

予約不要、当日の入館券が必要です。

12月18日（土）、1月15日（土）、2月26日（土）

※新型コロナウイルス感染症の状況により、展覧会会期、関連行事の予定が変更となる場合がございます。最新情報は当館ウェブサイトをご確認ください。

問合せ先

菊池寛実記念 智美術館（担当：足立）

電話 03-5733-5131 FAX 03-5733-5132

<https://www.musee-tomo.or.jp/>

入賞者のご紹介（賞別、五十音順）

◆大賞 猪倉 高志 《線を解き放つ》

◆優秀賞 梅本 孝征 《色絵流加彩昇落器》

◆奨励賞 津金 日人夢 《青瓷平壺—水天彷彿—》

中里 浩子 《はなもよう》

原田 雅子 《ながるる》

賞別に、氏名・作品名・サイズ・在住地・生年・主な経歴の順に記載

【大賞】猪倉 高志 《線を解き放つ》 高 41.8×幅 24.2×奥行 24.2 cm



岐阜県在住/1962年生まれ

1989年 多治見市陶磁器意匠研究所修了

中長小西（東京）他で個展。

第18・19・20・21回日本陶芸展入選、第4回菊池ビエンナーレ展入選。

東京国立近代美術館、金沢21世紀美術館、国際交流基金、茨城県陶芸美術館、ヴィクトリア&アルバート美術館に作品収蔵

【優秀賞】梅本 孝征 《色絵流加彩昇落器》 高 17.8×幅 44.5×奥行 44.5 cm



愛知県在住/1962年生まれ

1988年 東京藝術大学大学院陶芸専攻修了

日本橋三越本店（東京）、日本橋高島屋（東京）他で個展。

朝日現代クラフト展奨励賞、日本陶芸展入選、東海伝統工芸展愛知県知事賞・NHK名古屋放送局長賞・日本工芸会賞他

現在、愛知県立芸術大学教授、日本工芸会正会員

【奨励賞】

津金 日人夢 《青瓷平壺—水天彷彿—》 高 18.5×幅 41.0×奥行 41.0 cm



熊本県在住/1973 年生まれ

1993 年 有田窯業大学校ロクロ科修了後、熊本に戻り作陶を始める

日本橋三越本店（東京）、銀座和光（東京）ほかで個展。西部伝統工芸展にて受賞多数、伝統工芸陶芸部会展日本工芸会賞受賞、第 11 回国際陶磁展美濃入選、第 7 回菊池ビエンナーレ展入選
現在、日本工芸会正会員、熊本県美術協会会員

中里 浩子 《はなもよう》 高 27.0×幅 48.0×奥行 34.0 cm



神奈川県在住/1966 年生まれ

1992 年 京都市立芸術大学大学院美術研究科陶磁器専攻修了

1990 年 京都市立芸術大学卒業制作展 富本憲吉賞

1992 年 同上大学院修了制作展 山口華楊賞

2004 年 第 5 回益子陶芸展 審査員特別賞

2019 年 第 58 回日本クラフト展 審査員特別賞

第 8 回菊池ビエンナーレ展 奨励賞

原田 雅子 《ながるる》 高 62.0×幅 50.0×奥行 48.0 cm



岐阜県在住/1966 年生まれ

2005 年 飛騨国際工芸学園生涯学習課程陶芸コース修了

2017 年 愛知県立窯業高等技術専門学校製造コース修了

2017～2018 年 岐阜県立多治見工業高等学校専攻科

（陶磁科学芸術科）で学ぶ

2013 年 第 47 回女流陶芸公募展 入選

2015 年 第 49 回女流陶芸公募展 T 氏賞

2017 年 第 51 回女流陶芸公募展 NHK 京都放送局賞

2018 年 伊丹国際クラフト展 “酒器・酒盃台” 入選

■入選者一覧■（奨励賞以下は五十音順）

No.	結果	作家名	ふりがな	在住地	作品名
1	大賞	猪倉 高志	いくら たかし	岐阜県	線を解き放つ
2	優秀賞	梅本 孝征	うめもと こうせい	愛知県	色絵流加彩昇落器
3	奨励賞	津金 日人夢	つがね ひとむ	熊本県	青瓷平壺－水天彷彿－
4	奨励賞	中里 浩子	なかざと ひろこ	神奈川県	はなもよう
5	奨励賞	原田 雅子	はらだ まさこ	岐阜県	ながるる
6	入選	アイザワ リエ	あいざわ りえ	茨城県	貝寄風
7	入選	青木 岳文	あおき たけふみ	岐阜県	vase
8	入選	明石 朋実	あかし ともみ	愛知県	釉はじき染付大鉢
9	入選	浅田 浩道	あさだ こうどう	京都府	彩泥條刻文器
10	入選	市野 秀作	いちの しゅうさく	兵庫県	灰釉彩鉢
11	入選	伊藤 公洋	いとう こうよう	愛知県	志野彩文花器
12	入選	伊藤 みちよ	いとう みちよ	千葉県	甕覗きの庭
13	入選	伊藤 雄志	いとう ゆうし	愛知県	練込大鉢
14	入選	今田 拓志	いまだ たくし	広島県	をる陶
15	入選	宇佐美 成治	うさみ せいじ	栃木県	流水
16	入選	大塚 茂吉	おおつか もきち	山梨県	種まく人
17	入選	岡田 泰	おかだ やすし	山口県	淡青釉線文鉢
18	入選	小形 こず恵	おがた こずえ	静岡県	霧染鉢「酔芙蓉」
19	入選	奥川 真以子	おくがわ まいこ	佐賀県	銹釉鉢
20	入選	加藤 真美	かとう まみ	愛知県	月下
21	入選	神田 樹里	かんだ じゅり	鹿児島県	集
22	入選	喜如嘉 克昌	きじよか かつまさ	東京都	層磁鎬壺 渦
23	入選	國定 克彦	くにさだ かつひこ	京都府	彩瓷線文鉢
24	入選	酒井 智也	さかい ともや	愛知県	ReCollection 「タうえふわたア」
25	入選	坂本 章	さかもと あきら	鳥取県	青瓷稜線壺
26	入選	澤田 勇人	さわだ はやと	茨城県	鳥人
27	入選	柴田 有希佳	しばた ゆきか	石川県	夕顔文三角壺
28	入選	庄村 久喜	しょうむら ひさき	佐賀県	白妙彩磁壺
29	入選	杉谷 恵造	すぎたに けいぞう	大阪府	umbra vitae
30	入選	高橋 朋子	たかはし ともこ	千葉県	月筐
31	入選	田中 陽子	たなか ようこ	岐阜県	透磁長角皿
32	入選	田中 良和	たなか よしかず	愛知県	Mai

No.	結果	作家名	ふりがな	在住地	作品名
33	入選	田原 形子	たはら けいこ	東京都	シュレディンガーの 兎 vol.2
34	入選	田原 崇雄	たはら たかお	山口県	萩流白釉鉢
35	入選	田 園	でん えん	中国	Palette
36	入選	中井 波花	なかい なみか	石川県	肖々-ayakatte-
37	入選	中田 雅巳	なかだ まさる	石川県	TOKI
38	入選	西澤 伊智朗	にしざわ いちろう	長野県	彷徨の先に見たもの
39	入選	布下 翔碁	ぬのした しょうご	東京都	Embracing-Damage
40	入選	馬場 芳道	ばば よしみち	神奈川県	炭化化粧紋大鉢
41	入選	樋口 邦春	ひぐち くにはる	奈良県	青白磁潮流文花器
42	入選	増原 嘉央理	ますはら かおり	北海道	紅白鮮水影-2103-
43	入選	松澤 恵美子	まつざわ えみこ	神奈川県	脱皮
44	入選	三浦 義広	みうら よしひろ	島根県	獅子と狛犬
45	入選	宮下 陽	みやした よう	愛知県	青街図深鉢 「逍遙の景」
46	入選	森山 寛二郎	もりやま かんじろ う	福岡県	切り継ぎ一廻一
47	入選	山口 美智江	やまぐち みちえ	愛知県	艶めいて
48	入選	米田 和	よねだ かず	石川県	黒描「蓮ノ道」図 長角皿-「何処ヲハカ ト」
49	入選	輪笠 伸好	わかさ のぶよし	千葉県	彩色器
50	入選	若狭 祐介	わかさ ゆうすけ	広島県	藍彩器 紋像
51	入選	若月 バウマン ルミ	わかつき ぼうまん るみ	長野県	stream
52	入選	若林 和恵	わかばやし かずえ	神奈川県	色絵銀彩螺旋文陶管 「COSMO」
53	入選	渡邊 陽子	わたなべ ようこ	広島県	ORIORI NO IRO
54	入選	和田山 真央	わだやま まさひろ	和歌山県	Relation

以上 54 名（敬称略）

■本公募展、展覧会について広報媒体へ掲載、取材をいただく場合、本リリースに紹介されている作品画像をデータでお貸し出しいたします。申込書のご希望の図版に☑を記し、用紙を返信のうえ、お問い合わせください。ご紹介いただく記事、番組内容については、情報確認のため校正の段階で事務局までお知らせください。お貸しする画像データは本展覧会終了をもって使用期限とさせていただきます。

お問い合わせ先 菊池寛実記念 智美術館(担当:足立)

TEL.03(5733)5131 FAX.03(5733)5132 <https://www.musee-tomo.or.jp/>

掲載・画像貸出申込書

返信先 FAX: 03-5733-5132

●貴社基本情報

会社名:	
担当部署:	担当者名:
住所:〒	
電話	ファックス:
E-MAIL:	

●媒体情報

新聞 雑誌	媒体名:
	発行日:
TV ラジオ	媒体名:
	放送日:
ネット	URL:

●画像貸出リスト キャプションには作家名/作品名/撮影者(尾見重治、大塚敏幸)を必ず入れてください。

希望作品 に☑	作品キャプション
<input type="checkbox"/>	①大賞:猪倉高志《線を解き放つ》高41.8×幅24.2×奥行24.2cm
<input type="checkbox"/>	②優秀賞:梅本孝征《色絵流加彩昇落器》高17.8×幅44.5×奥行44.5cm
<input type="checkbox"/>	③奨励賞:津金日人夢《青瓷平壺—水天彷彿—》高18.5×幅41.0×奥行41.0cm
<input type="checkbox"/>	④奨励賞:中里浩子《はなもよう》高27.0×幅48.0×奥行34.0cm
<input type="checkbox"/>	⑤奨励賞:原田雅子《ながるる》高62.0×幅50.0×奥行48.0cm

●読者プレゼント用チケット希望: 5組10名様 10組20名様

内覧会・授賞式・講評会のご案内

展覧会内覧会および本展入賞・入選者に対する授賞式と作品講評会を開催いたします。
ご多用のなか恐縮に存じますが、どうぞご出席くださいますようお願い申し上げます。

菊池寛実記念 智美術館

2021年12月10日(金)

13:00～15:00 内覧会 入選者・審査員・報道関係者・美術館関係者の皆様のみご招待

15:30～16:00 授賞式 入選者・審査員・報道関係者の皆様のみご招待

16:00～18:00 講評会 入選者・審査員・報道関係者の皆様のみご招待

※撮影をなさる際には受付にてプレス章をお受け取り下さい。

※新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、プレスプレビューは行いませんので、ご質問等は会場の学芸員にお気軽にお申し付けください。

いずれも会場：菊池寛実記念 智美術館

〒105-0001 港区虎ノ門 4-1-35 西久保ビル B1

- ・日比谷線・神谷町駅出口 4b より徒歩 6 分
- ・日比谷線・虎ノ門ヒルズ駅出口 A1、A2 より徒歩 8 分
- ・南北線・六本木一丁目駅改札口より徒歩 8 分
- ・南北線／銀座線・溜池山王駅出口 13 より徒歩 8 分
- ・銀座線・虎ノ門駅：出口 3 より徒歩 10 分

ご出席いただける場合は、下記フォームにご記入の上、FAX にて

ご返信下さい。**返信先 FAX 03-5733-5132**

※○をお付けください

◆内覧会	ご出席	◆授賞式	ご出席	◆講評会	ご出席
会社名/部署					
氏名					
住所					
電話/ FAX			Email		